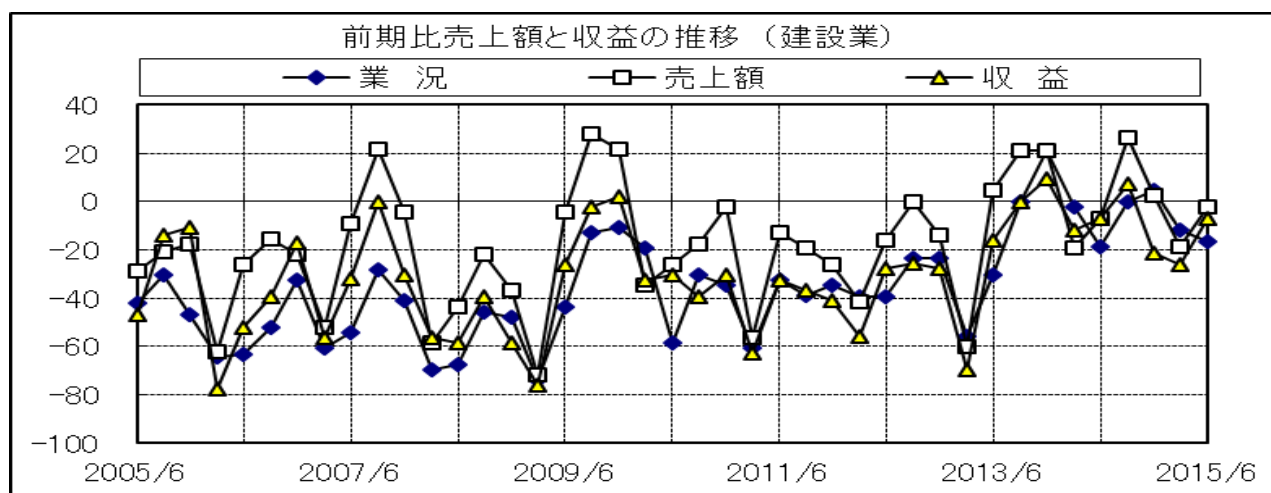


建設業 42企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	4.8	-11.9	-16.6	-14.2
売上額	2.3	-19.0	-2.3	9.6
収 益	-21.4	-26.2	-7.1	-7.2

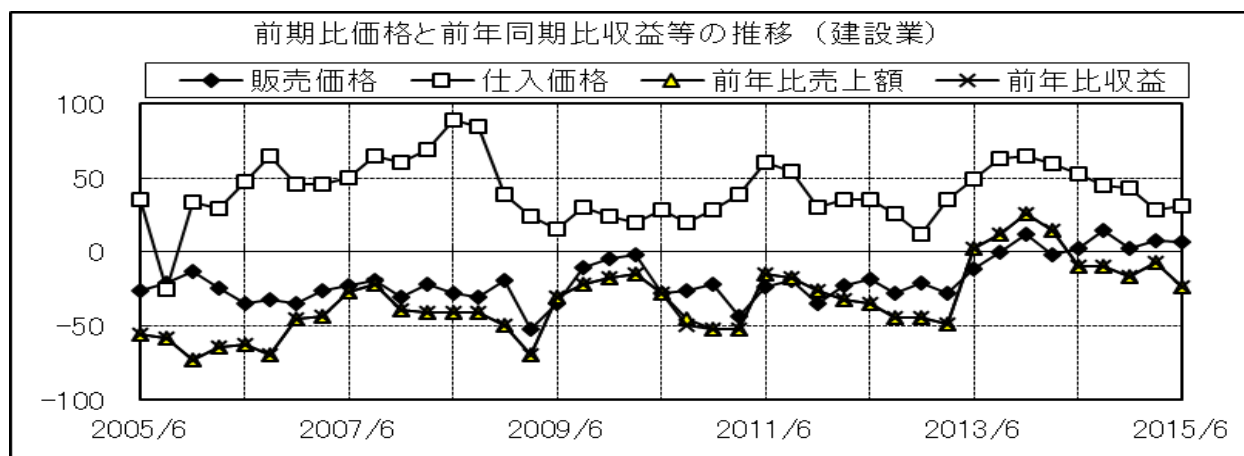
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 16.6$ と、前期比 4.7 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、広尾、様似、浦河、三石、えりも、静内の順となった。前年 ($\Delta 19.0$) 比では、2.4 ポイントの上昇となった。売上判断 D. I. は $\Delta 2.3$ と、前期比 16.7 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は $\Delta 7.1$ と、前期比 19.1 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
請負価格	2.4	7.2	7.1	7.1
仕入価格	42.9	28.5	31.0	33.3

請負価格判断 D. I. は 7.1 と前期比ほぼ横ばいで推移。仕入価格判断 D. I. は 31.0 と、前期比 2.5 ポイントの上昇で価格上昇基調。前年比では請負価格（前年 2.4）は 4.7 ポイント上昇、仕入価格（同 52.4）は 21.4 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-4.8	-14.2	-14.3	-7.2
人手状況	-28.6	-9.6	-2.4	-16.7

残業時間判断 D. I. は $\Delta 14.3$ と前期比ほぼ横ばいで推移した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 2.4$ と、前期比 7.2 ポイント上昇し、人手不足感を弱めた。

□ 設備投資の動き

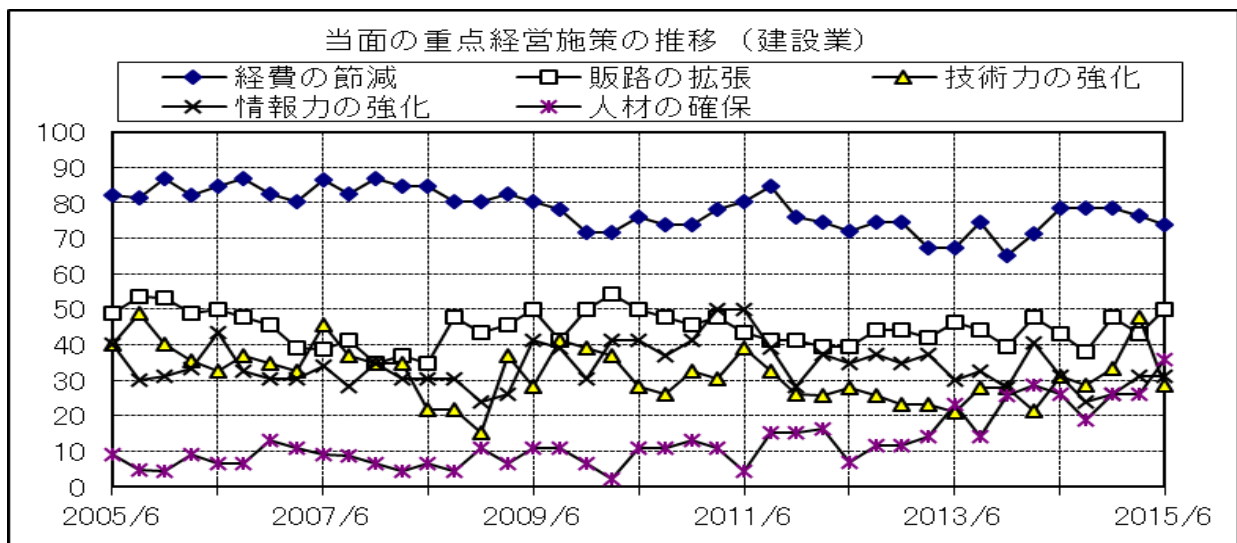
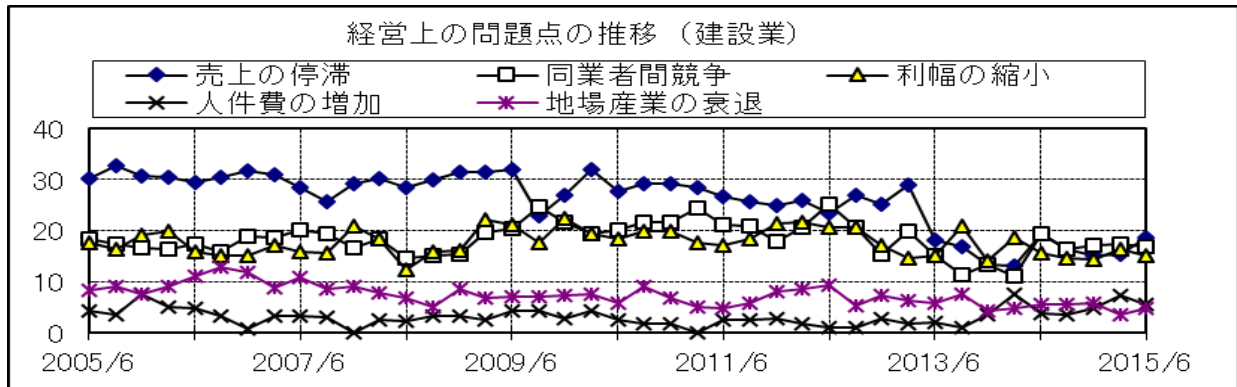
設備投資の充足感を示すD. I. は△11.9で、前期比7.1ポイントの下降となった。

設備投資実施企業割合は21.4%と、前期比2.4ポイント上昇、設備投資は前期8社に対し、9社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」18.7%、「同業者との競合」16.8%、「利幅の縮小」15.0%、「材料価格の上昇」が9.3%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ73.8%、次いで「販路を広げる」50.0%「人材の確保」35.7%、「情報力を強化する」31.0%、「技術力を高める」28.6%と続いている。



来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△14.2と、今期比2.4ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は9.6と、今期比11.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△7.2と、今期比0.1ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は△7.1と、今期と横ばいの水準を見通している。

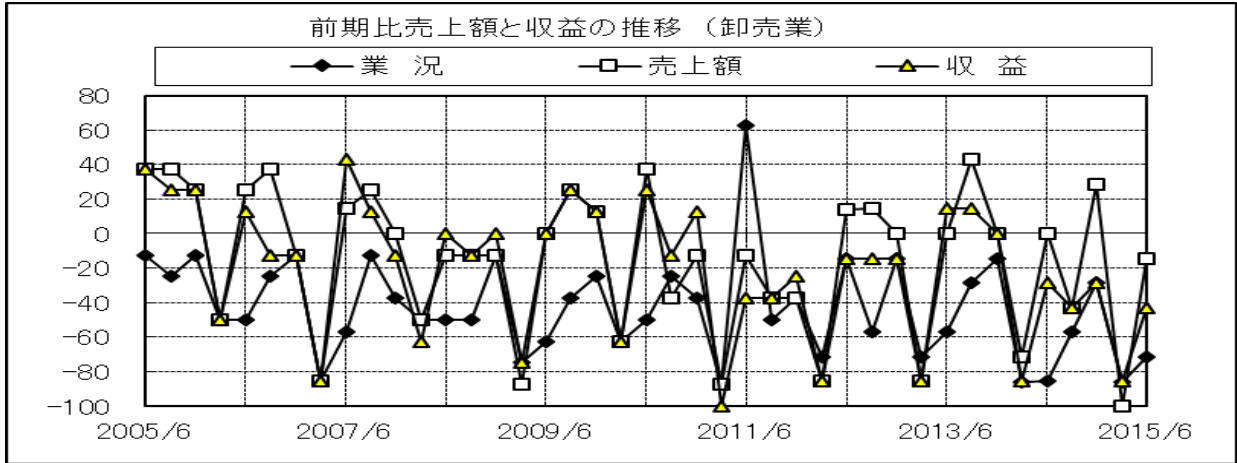
予想仕入価格判断D. I. は33.3と、今期比2.3ポイントの上昇を見通している。

卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業況	-28.6	-85.8	-71.5	-71.4
売上額	28.6	-100.0	-14.3	0.0
収益	-28.6	-85.7	-42.9	0.0

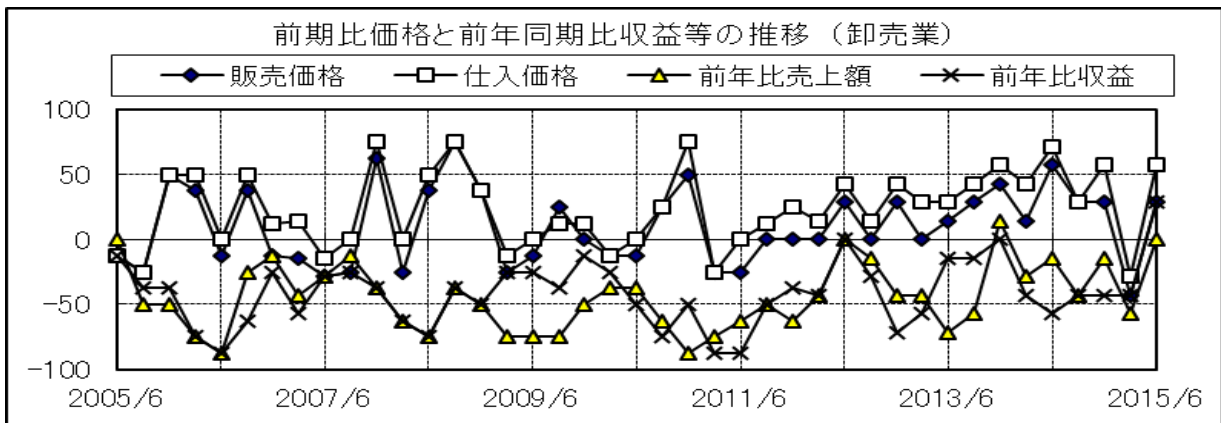
今期の業況判断 D. I. は△71.5 と、前期比 14.3 ポイントの上昇。地区別の水準は、様似地区は改善、浦河、静内、三石地区は横ばいとなった。前年（△85.7）比では 14.2 ポイント上昇した。売上額判断 D. I. は△14.3 と、前期比 85.7 ポイントマイナス幅が縮小。収益判断 D. I. も同比 42.8 ポイントマイナス幅が縮小した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	28.6	-42.9	28.6	42.8
仕入価格	57.2	-28.6	57.1	57.1

販売価格判断 D. I. は 28.6 と、前期 71.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 57.1 と、前期比 85.7 ポイント上昇した。業種別にみると、水産、食品ともに販売価格・仕入価格は上昇となった。前年比では、販売価格（前年 57.1）は 28.5 ポイント下降、仕入価格（同 71.4）は 14.3 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	14.3	0.0	-28.6	-14.3
人手状況	-14.3	0.0	0.0	-28.6

残業時間判断 D. I. はゼロ水準からマイナス水準へと 28.6 ポイント下降した。

人手過不足判断 D. I. は前期横ばいのゼロ水準となり、人手不足感は解消されている。

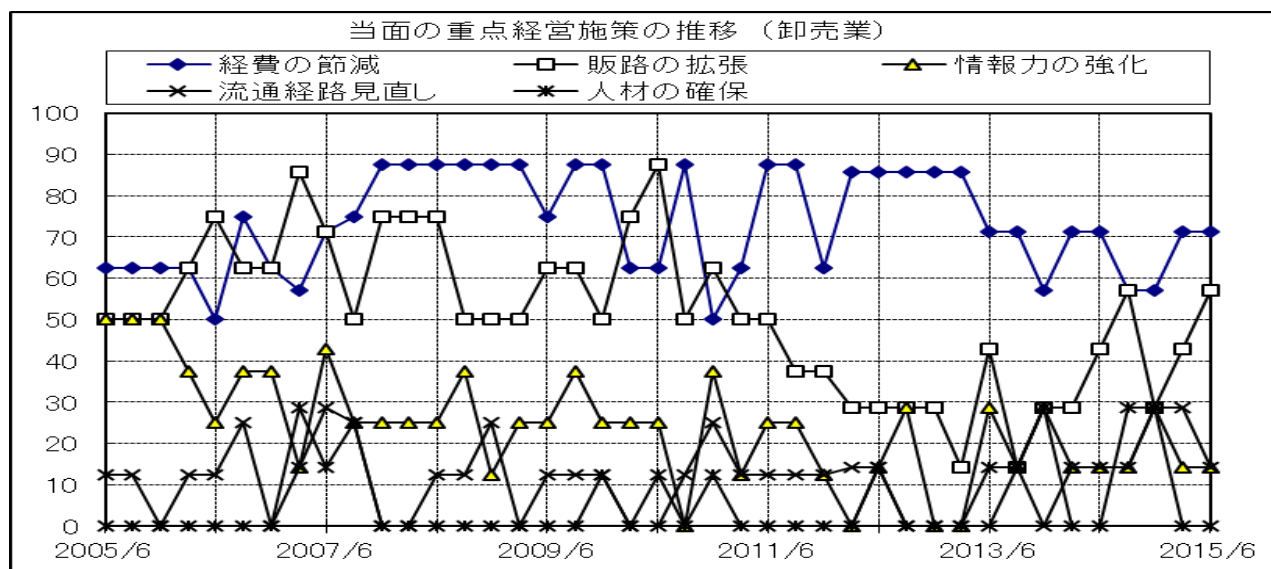
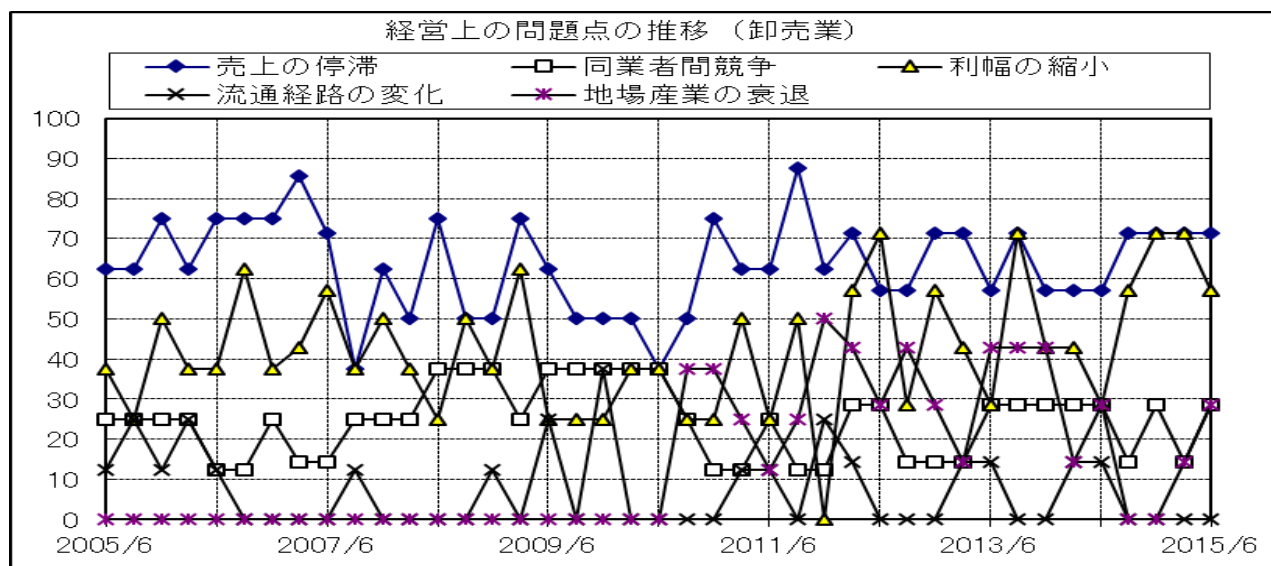
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は、前期同様ゼロ水準が継続された。投資実施企業は、前期0件に対し1件となった。来期の設備投資の予定は今期同様1件。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」71.4%、「利幅の縮小」57.1%と続き、「同業者との競合」・「取引先の減少」・「地場産業の衰退」が同率の28.6%となった。

重点経営施策では、「経費を節減する」をトップに挙げ71.4%、次いで「販路を広げる」57.1%、「品揃えを充実する」・「情報力を強化する」・「新事業を始める」・「提携先を見つける」・「流通経路を見直す」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 71.4$ で、今期比ほぼ横ばいの水準を見通している。
 予想売上額判断D. I. はゼロ水準で、今期比14.3ポイントの上昇を見通している。
 予想収益判断D. I. はゼロ水準で、今期比42.9ポイントの上昇を見通している。
 予想販売価格判断D. I. は42.8で今期比14.2ポイントの上昇を見通している。
 予想仕入価格判断D. I. は57.1で今期比横ばいの水準を見通している。